

ステークホルダーとの関わり

○ ステークホルダーとの関わり

主なステークホルダー 定義	期待・要請	当社グループの主な対応
<p>お客さま（法人・個人）</p> <p>マンション・戸建て住宅ご契約者 テナントビルのご利用者 各種サービスのご利用者 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 価値のある製品、サービスの提供 ● 品質、コスト等あらゆる面での顧客満足度の向上 ● 環境に配慮した製品の提供 ● 製品、サービスに関する正確、適切な情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● オンライン商談システムの導入 ● オンラインマンションモデルルームシステムの導入 ● 「きれいな空気・空間」の提供 ● 「ZEH-M Oriented」認証取得物件の供給 ● 営業スタッフアンケートの実施 ● 季刊誌『Smilax』の発行
<p>地域社会</p> <p>タカラレーベングループの事業に関わる 地域のコミュニティ・住民・行政 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 事故、災害の防止 ● 社会課題の解決に向けた協力・連携 ● 雇用の確保 ● 社会貢献活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域イベントへの参加・協賛 ● 管理物件でのコミュニティイベントの開催 ● 社会貢献活動への取り組み ● 建替・再開発事業を通じた地域活性化
<p>取引先</p> <p>工事委託先 各種サービス提供に関わる事業者 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 公平、公正な取引 ● 顧客満足、CSR調達の実現に向けた情報共有や協働 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公平、公正な取引の実施 ● 業務における連携・協働
<p>従業員</p> <p>タカラレーベングループ従業員・家族</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 従業員とその家族の豊かな生活づくり ● 人材の活用と育成 ● 適正な評価と処遇 ● 人権、人格、個性の尊重 ● 多様な人材が活躍できる職場づくり ● 労働安全衛生への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種研修の実施 ● 人事面談、評価面談の実施 ● ヘルプライン窓口の運用 ● 在宅勤務制度の導入 ● 時差出勤・時短勤務の推奨 ● 衛生委員会の設置
<p>株主・投資家</p> <p>個人・機関投資家</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業価値の維持向上 ● 安定的利益の確保と適正な還元 ● ガバナンス体制の強化 ● リスクマネジメント体制の構築 ● 企業情報の適時、適切な開示 	<ul style="list-style-type: none"> ● 決算説明会、株主総会の開催 ● 国内・海外機関投資家との個別ミーティングの実施 ● 株主アンケートの実施 ● 会社説明会の開催、IRフェアへの参加 ● WEBサイトでのIR情報の開示 ● 外部認証の獲得

○ 高岡駅前東地区優良建築物等整備事業

富山県第二の都市・高岡市では、活力とにぎわいあるまちづくりを目指して、高岡駅周辺の再開発事業が活発に行われています。

タカラレーベンは2015年、中心市街地の「末広西地区暮らし・にぎわい再生事業」における商業・公益・住宅の一体開発事業に参加し、街の新たなシンボルとなる高層レジデンス「レーベン高岡MID RISE TOWER」（地上16階）を整備し、中心市街地の人口回復を図りました。

また現在は、多くの市民の皆さまから期待と注目が集まる「高岡駅前東地区優良建築物等整備事業※」では、駅前のにぎわいづくりと良質なまちなか居住を目的としています。この事業の施行者として、タカラレーベンは関係権利者の皆さまと共にプロジェクトの推進に取り組んでいます。

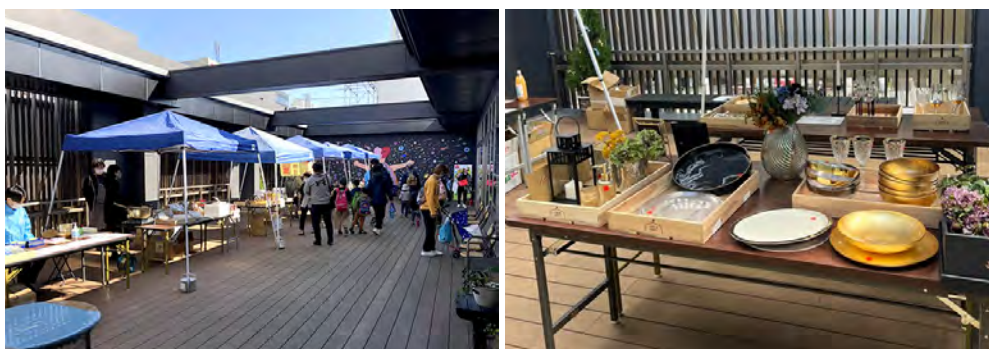
※ 優良建築物等整備事業：市街地の環境の整備改善、良好な市街地住宅の供給等に資するため、土地の利用の共同化、高度化等に寄与する優良建築物等の整備を目的とした国土交通省の制度



○ まち再生への取り組み

■ 高岡クラフト市場街2021

タカラレーベンは、2021年10月にクラフトと高岡のまちの魅力を発信するイベント「高岡クラフト市場街」に参加し、「レーベン高岡 MID RISE TOWER」にて「モデルノコモノ&マルシェ」を開催しました。モデルノコモノは、SDGsの一つである「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」への貢献を目的に、当社のモデルルームにて使用したインテリア雑貨の特別販売を行うという取り組みです。マルシェでは地元クラフトの展示販売に加え、山形名物「芋煮」やオーガニック農産物等を販売、当日は当社従業員もスタッフとして参加し、大盛況となりました。



■ 日本海高岡なべ祭り

タカラレーベンは、地方都市の中心市街地再生支援活動に積極的に取り組んでいます。2022年1月に開催された「第36回日本海高岡なべ祭り」では、「レーベン高岡 MID RISE TOWER」の地権者の皆さまと連携し、高岡市の賑わい創出を目指してイベントを共催しました。山形名物「芋煮」の販売に加え、レーベンクラフトおよびモデルノコモノ（モデルルーム展示雑貨の販売）も同時開催しました。また、当日はイベントスタッフをグループ会社からも幅広く募集し、総勢13名の従業員が参加する大々的なイベントとなり、地域の皆さまにも喜んで頂けました。

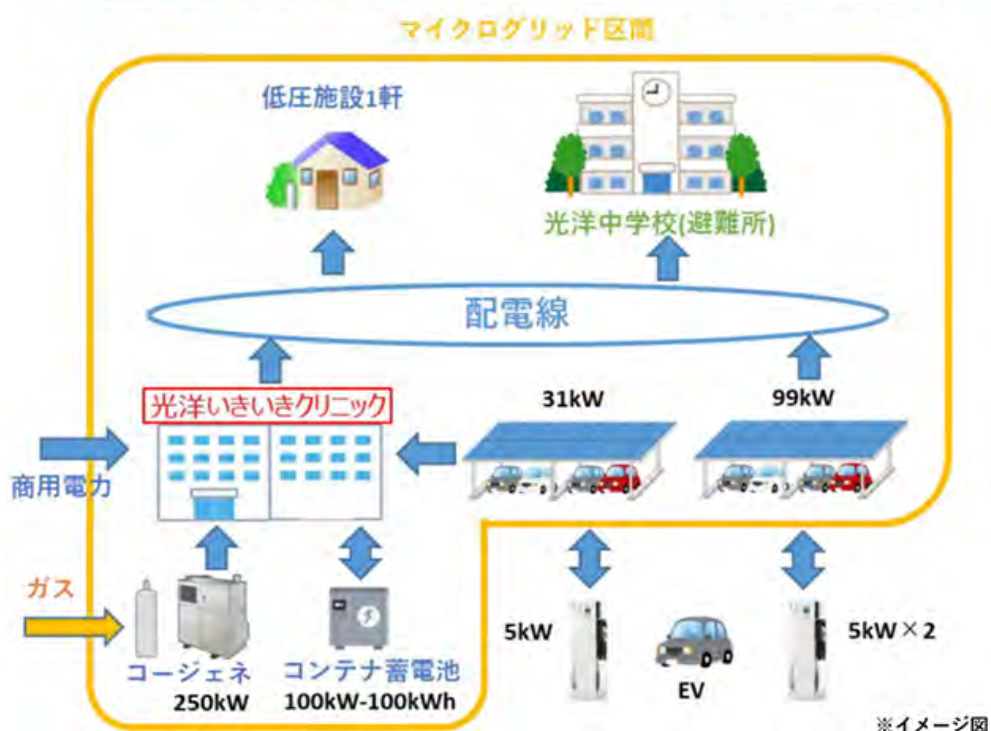


○ 地域マイクログリッド構築プロジェクト

地域マイクログリッドは、限られたコミュニティ内で再生可能エネルギー（太陽光、バイオマスなど）から電気をつくり、蓄電池などで電力量をコントロールしながらコミュニティの電力需要を賄うシステムです。

タカラレーベングループでは、地域の活性化や循環型社会の実現につながる地域マイクログリッドの事業化に向けた活動を進めています。株式会社レーベンクリーンエナジーでは、一般社団法人環境共創イニシアチブ（SII）から「令和3年度 地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金（地域マイクログリッド構築支援事業のうち、導入プラン作成事業）」の採択を受けて、2021年11月より地域マイクログリッド構築に向けた導入プラン作成プロジェクトを開始しています。本プロジェクトでは、北海道苫小牧市光洋町エリアで地域マイクログリッドを構築し、災害発生などの非常時に地域医療を担うクリニックおよび地域の指定避難所に再生可能エネルギー（太陽光発電）による電力を供給し、BCP（事業継続計画）対策や電力レジリエンスの強化への貢献を目指しています。

苫小牧市光洋町地域マイクログリッド構想



○ 「一般社団法人小岩駅周辺地区エリアマネジメント」が本格始動

総武線小岩駅の開業から百余年の歴史を刻んできたJR小岩駅周辺地区では、現在複数の大規模再開発事業が進行しています。地権者、デベロッパー、居住者、利用者等が連携し、エリアマネジメント活動を展開していくための組織として、一般社団法人小岩駅周辺地区エリアマネジメント（KOITTO）が設立され、タカラレーベンが特別賛助会員として参画しています。KOITTOでは、①地域の協力連携を促進する企画、イベントの推進、②エリアマネジメント拠点の運営・活用、③エリアブランディング活動、④再開発の進捗に合わせた公共的空間の利用検討に取り組むこととしています。先行して再開発が竣工した南小岩六丁目地区にエリアマネジメント拠点「コイットテラス」を2021年1月にオープンし、小岩駅周辺のエリアマネジメントを本格スタートさせました。

※ KOITTO：小岩駅周辺地区のエリアマネジメントに取り組むため、2020年11月に設立された一般社団法人。2022年3月29日に都市再生推進法人*に指定されました。

*都市再生推進法人：都市再生特別措置法に基づき、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域のまちづくりの中核を担う法人として、市町村が指定します。



○ 大崎市古川 官・民一体の大規模再開発プロジェクト

宮城県大崎市では、大崎市役所周辺において、地域の発展を牽引してきた中心市街地の再生を目指して、官民一体となった複合再開発プロジェクトが進められています。タカラレーベン東北が開発した、地上14階建ての複合プレミアムレジデンス「レーベン古川七日町THE STATE」は、高層マンションならではの雄大なパノラマと開放感に包まれ、行政・民間の英知が結集して進化する街の新たなランドマークとして、2022年3月に竣工しました。



○ 青森市新町一丁目地区優良建築物等整備事業「THREE」参画

タカラレーベン東北は、新町街づくり株式会社とMiK株式会社が進める青森市新町一丁目地区（中三百貨店青森本店跡地）優良建築物等整備事業「THREE」に参画しています。「衣・医」「食」「住」の3つが融合するタワーレジデンス（地上14階建て、5階以上は全85戸のマンション）「THREE」の住宅保留床を取得し住宅分譲事業を担うことで、青森市の中心市街地活性化に貢献していきます。下層階には、クリニックモールや食料品スーパー、飲食街があり、渡り廊下で別棟の自走式駐車場につながるため、豪雪エリアでありながら雪のストレスを感じさせない生活が可能です。地方都市の百貨店再生の新たな提案となります。



○ 横浜型地域貢献企業認定

タカラレーベングループの建築部門を担うレーベンホームビルド（旧・日興タカラコーポレーション）は、横浜型地域貢献企業認定制度において最上位の評価を受けています。横浜型地域貢献企業認定制度は、神奈川県横浜市内で本業及びその他の活動を通じて優れた地域貢献活動に取り組む企業を、行政機関である横浜市が評価し認定する制度です。「地元活用・志向」「雇用」「環境」「労働安全衛生」「消費者・顧客対応」「コンプライアンス」「情報セキュリティ」など様々な観点からの監査によって、企業の地域性やマネジメント・システムの評価が行われます。



○ 避難所案内サイン「やじるし」キッズデザイン賞受賞

レーベンホームビルドは、新築戸建を分譲し街づくりに携わるデベロッパーとして、「目印の少ない住宅街に、小さな子どもをはじめ、誰でもわかりやすい避難所への案内サインが必要」という考えのもと、避難所案内サイン「やじるし」の製作、設置を行っています。地域全体の子どもたちへの防災教育につなげるべく、同社分譲地のゴミステーション内など、通りに面した場所に設置しています。設置の際には、周辺住民の皆さまにも目的や意義をお伝えし、多くの方々から賛同をいただいています。今後は、要望に応じて他社分譲地や行政・団体などにも提供し、地域コミュニティ全体の防災への貢献を目指します。「やじるし」は、子どもたちにわかりやすいよう最少化された情報と表現の中にも高いクリエイティビティがあると評価され、2019年度キッズデザイン賞において、奨励賞を受賞しました。



○ 「Brillia 湘南辻堂海浜公園」プロジェクト

神奈川県藤沢市の「Brillia 湘南辻堂海浜公園」（東京建物株式会社との共同事業）は、行政制度を活用し、地域住民も利用できる津波避難施設（約400m²・約660名が収容可能）を屋上に設置した分譲マンションです。同マンションの立地するエリアは、シーサイドライフを満喫できる環境ですが、大地震の際の津波被害が想定され、災害時の「共助」の実現が期待されていました。施設のお披露目会には近隣住民約200名が参加し、その後、藤沢市と地域ぐるみの防災訓練時の利用についての協議が始まるなど、継続的なコミュニティ活性化の動きがスタートしています。「災害の備えに対する分譲マンション開発の新たなスキーム」を提示したこと、さらに有効性と汎用性の高さが評価され、2019年度グッドデザイン賞を受賞した取り組みです。



屋上への避難階段入り口（1階北側）

お客さまと共に

○ 営業スタッフアンケート

タカラレーベンでは、営業スタッフや会社に対するお客さまのイメージを把握し、より良い関係をつくっていくことを目的として、2019年度よりモデルルーム来場者へのアンケート調査を実施しています。調査では、「お客さまのニーズに合ったご提案ができたか」「説明のわかりやすさや時間は適切だったか」「気遣いを持って丁寧に接することができたか」など、営業スタッフの対応について、あらゆる面から評価を頂いています。

2021年度は、はがきのアンケートからiPadでのご回答とすることで回収率が上がり、より多くのお客さまの声を頂くことができました。集計結果は毎月各モデルルームごとにフィードバックされ、部署内での共有を行うことで、お客さまの声が速やかに接客サービスの向上や、より快適な空間の提供につながるよう運用されています。また、お客さまから頂いた物件のデザインや設備仕様についてのご意見は関連部門への連携を行うなど、商品企画にも役立てられています。



お客さまのご案内を担当した営業担当の対応について	2020年度						
	不満足	やや不満足	どちらともいえない	やや満足	満足	未回答	合計
全体のご説明に要した時間や時間配分	2%	5%	9%	25%	58%	0%	1986件
お客さまのニーズを汲み取ったご案内やご提案	1%	2%	7%	25%	65%	0%	1986件
お客さまの疑問(不安)に対してのご説明・対応の早さ	1%	1%	6%	23%	69%	0%	1986件
物件内容や周辺環境についての情報量およびわかりやすさ	1%	1%	7%	28%	63%	0%	1986件
資金計画やライフプランについてのご説明	1%	2%	19%	25%	53%	1%	1983件
管理やアフターサービスについてのご説明	1%	1%	18%	27%	52%	1%	1984件
お客さまへの気遣い・対応の丁寧さ	1%	1%	4%	17%	76%	0%	1983件



2021年度							
不満足	やや不満足	どちらともいえない	やや満足	満足	未回答	合計	
1%	3%	9%	25%	62%	0%	7938件	
0%	1%	6%	25%	68%	0%	7936件	
0%	1%	6%	22%	71%	0%	7937件	
0%	1%	6%	26%	67%	0%	7938件	
0%	1%	17%	25%	57%	0%	7935件	
0%	1%	17%	26%	56%	0%	7938件	
0%	1%	4%	17%	78%	0%	7937件	

○ レーベンコミュニティのコミュニティ活動

2011年の東日本大震災をきっかけに、マンションでのコミュニティ形成の重要性が見直されています。レーベンコミュニティは、普段から顔の見える関係性を築くことが、暮らしやすさだけでなく、日々の防犯対策、またいざという時の助けや心強さにつながると考えて、マンション居住者同士のコミュニティ形成を支援しています。



■ 住民懇親会

レーベンコミュニティでは、コミュニティづくりのサポートの一環として、新築マンションで居住者同士の初顔合わせをサポートする「住民懇親会」など、お菓子やゲームを楽しみながら、大人も子どもたちも家族ぐるみでつながりをつくっていただけるイベントをさまざまな形で実施しています。また、複数の棟が集まるマンションでは、ゲームや屋台のほか、ワークショップなどで子どもたちに夏休みの思い出を提供する合同の夏祭りイベントもサポートしています。なお、2021年度も前年と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、住民懇親会の開催は見送っています。



■ コミュニティイベントにおけるコロナ対応

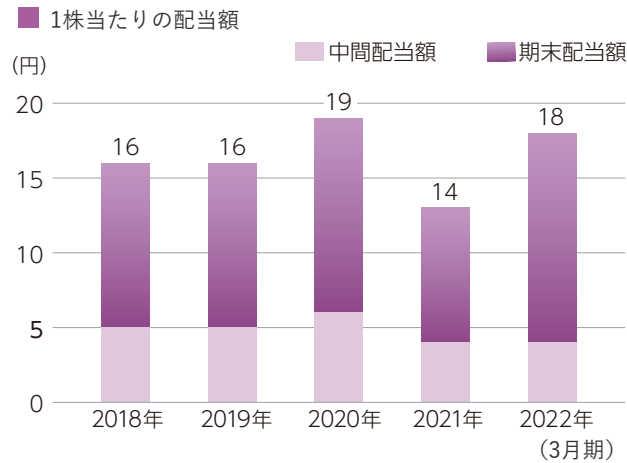
マンション管理サービスを提供するレーベンコミュニティでは、マンションの居住者が普段から顔の見える関係性を築くことが、暮らしやすさだけでなく、日々の防犯やいざという時の助け合いにつながると考えており、さまざまなイベントを通して居住者同士のコミュニティ形成を支援しています。2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの居住者が集まるイベントの開催は見送られましたが、七夕やクリスマスの飾り付けの設置など、3密とならないような季節ごとに楽しめるイベントを開催しました。



株主と共に

○ 配当に関する方針と実績

配当に関する基本的な判断については、配当性向のみの指標に偏ることなく、株主資本配当率（DOE）や配当利回りなど、総合的に考えています。短期でなく長期的に、かつ安定して保有していただけるよう、また株価の変動にも左右されず長く保有されている株主の皆さまのためにも魅力ある会社づくりを目指してまいります。



＞ 株式基本情報

○ 株主さまアンケート

株主の皆さまとの双方向コミュニケーションを図るために、定期的なアンケート調査を実施しています。アンケートで寄せられた貴重なご意見は、WEBサイトに掲載の株主通信を通じて皆さまに紹介するとともに、以降のIR活動への反映に努めています。



＞ 株主通信

○ 個人投資家向け会社説明会

タカラレーベンでは、個人投資家の皆さまとの積極的なコミュニケーションを図るため、全国各地で定期的に個人投資家向け会社説明会を実施しています。2019年8月には、日本最大級の個人投資家向けイベント「日経IR・個人投資家フェア」に出展し、幅広い層の皆さまに当社の事業内容や中長期戦略を説明しました。



▶ 個人投資家の皆様へ

○ 情報開示方針

タカラレーベンでは、以下の情報開示方針に基づき皆さまに情報を開示しています。

1 情報開示の基準

当社は、会社法、金融商品取引法その他諸法令ならびに東京証券取引所の「有価証券上場規程」に定める会社情報の適時開示に関する規定（以下、「適時開示規則」）に従って情報開示を行います。また、適時開示規則に該当しない場合でも、ステークホルダーの皆さまに当社を理解いただくために重要あるいは有益であると判断した情報につきましては積極的に開示します。

2 情報開示の方法

当社は、法定開示情報については原則として、東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則」に従い、同取引所が運営する「適時開示情報伝達システム（TDnet）」において開示し、その上で遅滞なく報道機関への発表およびその他法令・諸規則の定める開示手続きを行います。なお、当該情報は、開示後速やかに当社WEBサイトに掲載します。

3 情報開示の制限

当社は、情報開示について特定の第三者のみへの経営関連情報の開示を原則として禁じています。未公表の重要な情報を特定の者のみに開示することはせず、報道機関、投資家、証券アナリスト等の皆さまに対しても公正性を確保するため、個別ミーティングでは、原則として過去の歴史的事実、公表済みの事実等の限られた情報に限り言及します。

4 沈黙期間

当社は、ステークホルダーの皆さまへの公平性を確保するため、各四半期の期末日の翌日から各決算発表日までを沈黙期間としています。この期間中は、決算・業績見通しに関する質問への回答やコメントを差し控えております。ただし、沈黙期間中に業績予想と大きく変動する見込みが出てきた場合には、適時開示規則に従い公表いたします。なお、沈黙期間中も、すでに公表済みの情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

5 インサイダー取引の未然防止

当社は、重要情報を適切に管理しインサイダー取引の未然防止を図るための社内規程を定め、グループ従業員全体への周知徹底と理解啓蒙を促進しています。

6 第三者による情報・風説の流布について

当社は、当社グループに関する第三者によるいかなる予想、コメントなどについては一切責任を負いません。また、風説の流布に対する問い合わせについても、原則としてコメントいたしません。ただし、風説の流布等を放置した場合に当社に重大な影響があると判断される場合は、速やかにその原因を特定し、必要に応じて適切に対処いたします。

従業員と共に

タカラレーベングループでは、従業員一人ひとりが成長し、生き生きと働ける環境づくりに取り組んでいます。

- ＞ 従業員の安全・衛生管理
- ＞ 人事制度改定
- ＞ ダイバーシティ
- ＞ 働きやすい職場環境づくり
- ＞ 健康経営
- ＞ 各種研修制度
- ＞ 従業員とのコミュニケーション強化

従業員と共に

従業員の安全・衛生管理

タカラレーベングループは、安全・衛生に関する基本方針のもと、従業員の安全・衛生管理に努め、すべての従業員が安心して働ける職場環境づくりに向けた取り組みを進めています。

○ 安全・衛生に関する基本方針

タカラレーベングループは、従業員の安全確保と健康維持・増進への支援を積極的に行い、多様な人材が生き生きと働ける職場環境づくりに取り組みます。また、その推進体制として「衛生委員会」を設置し、従業員の安全・衛生管理の徹底を図っております。

■ 衛生委員会

当社グループは、労働安全衛生法18条で定められた衛生委員会を中心に、すべての従業員が安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

定期的開催される衛生委員会では、「交通事故」「労働災害」「時間外労働」などを、職場において従業員の安全と健康を脅かす重要なリスクと位置づけて、その実態の調査報告や問題解決に向けた議論を行っています。異なる職場を代表する委員たちからは、時間外労働削減や休暇取得推進を妨げている職場の環境や習慣の具体的な問題点が提起され、その改善に向けた施策が経営陣を交えて検討され、順次実行されています。

■ 定期健康診断

法令に則り定期健康診断の受診を促進するとともに、受診率向上のための取り組みとして、人事部から従業員へ積極的な働き掛けなどを行っています。また、事業所ごとに従業員が受診しやすい環境を整えています。各種疾患の早期発見のため、30歳以上は生活習慣病予防健診、女性は婦人科検診、35歳以上では人間ドックの受診が可能です。

■ ストレスチェック

従業員のメンタルヘルス不調を未然に防ぐストレス・マネジメントとして、ストレスチェックを実施し、その結果を経営会議で共有しています。また、従業員は会社に知られることなく、独立した第三者機関でいつでも無料でカウンセリングを受けることが可能です。

■ 安全運転講習

タカラレーベンは、新入社員研修時に安全運転講習を実施しています。事故防止活動に努めるのは企業の社会的責任であり、企業活動の一環であることを伝え、これまでの事故の傾向を紹介するとともに、危険予知トレーニングとしてグループワークなどを実施し、事故防止に努めています。

従業員と共に

人事制度改定

タカラレーベンは、従業員一人ひとりが未来に向けた永続的な成長を共に創造する存在であると考え、2019年より経営計画達成に必要な人材を安定的に生み出す新人事制度を推進しています。

新制度では、従業員がとるべき具体的な日々の行動「プロミス」に基づいて、等級・職種別に評価項目を設定したほか、適正かつ公平性・透明性の高い評価・処遇の実現に向けて、行動評価については評価会議によって評価基準の目線合わせなどの改定を実施しました。これらの取り組みにより、従業員へのより納得性の高いフィードバック、管理職における評価制度の意義や評価基準の理解促進による評価能力の向上を目指しています。

○ 人事制度基本方針

経営計画達成に必要な人材を安定的に生み出す人事制度

- 会社が求める人材像を明確に打ち出し、従業員がキャリアビジョンを描ける仕組みの構築
- 人件費配分を見直し、優秀な人材の獲得・定着とモチベーション向上
- 優秀な管理職人材を生み出すための教育と選抜の実施
- 公平性・透明性の高い評価・処遇を行い、従業員の納得感を醸成し成長意欲を向上

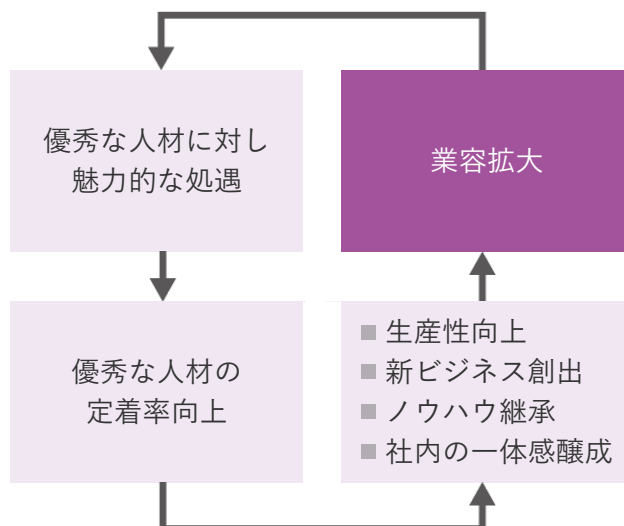
○ 「プロミス」12の行動

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 本気で仕事に取り組もう | 7 気持ちに耳を傾けよう |
| 2 心から仕事を楽しもう | 8 すぐに行動しよう |
| 3 本音で語り合おう | 9 自ら提案、行動し続けよう |
| 4 一つひとつの仕事に真摯でいよう | 10 チームワークを大切にしよう |
| 5 互いを尊重しよう | 11 既存の壁を取り払って行動しよう |
| 6 正しいことを追求しよう | 12 最後まで諦めずに取り組もう |

○ 人事制度改定の効果

タカラレーベンは、新人事制度の狙いである、適正かつ公平性・透明性の高い評価・処遇、評価基準の目線合わせなどの進捗状況をきめ細かく分析し、継続的な改善に取り組んでいます。

評価の上振れ傾向、評価基準のばらつき、資格取得の停滞などが問題点として取り上げられ、その解決に向けて評価方法や昇格要件などの変更を検討、実施しました。



従業員と共に

ダイバーシティ

○ 女性活躍

タカラレーベンでは、人材育成とやりがいのある職場環境の構築の一環として、「女性活躍推進プロジェクト」を発足させました。プロジェクトでは産休・育休から復帰後に今まで以上に安心して長く働き続けられる環境づくりをタカラレーベンで働く女性従業員の生の声をもとに活動を進めています。

2021年度は、仕事と子育てを両立した上で安心して働き続けることができる職場環境の支援として「ベビーシッター利用割引制度」を導入しました。

○ ダイバーシティの推進

性別、年齢、国籍、障がいの有無などにかかわらず、多様な人材が活躍する企業グループを目指して、ダイバーシティに取り組んでいます。千葉県千葉市の農園「レーベンヴィレッジ」では、障がい者3名、農園管理者1名を雇用し、さまざまな野菜を栽培。長期的に安心して就業できる環境を用意するとともに、農園で育てた野菜を社内で希望者に配布しています。



従業員と共に

働きやすい職場環境づくり

従業員が生き生きとその能力を最大限に発揮できる職場づくりに努めています。

○ 人権の尊重

タカラレーベングループは、従業員をはじめ、すべてのステークホルダーの基本的な人権を尊重して行動するとともに、法令や社会的な倫理規範、あるいは「倫理規程」に定めた事項を遵守しています。

○ テレワーク制度導入

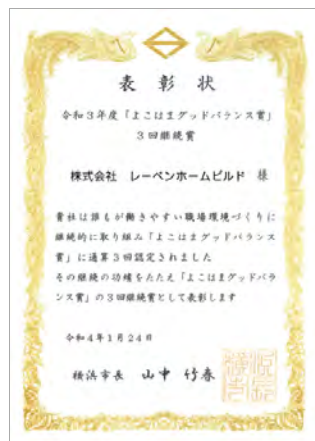
タカラレーベンでは2019年4月よりテレワークを導入し、従業員の多様な働き方を支援しています。「担当する業務内容」「出産や育児、介護」といった条件を満たす対象者は、情報漏えい対策などを整えた上で、週3回までオフィスに出社することなく勤務することが可能です。今後も、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方ができる魅力ある企業を目指すとともに、BCP（事業継続計画）の観点からもテレワーク制度を推進していく計画です。



○ 「よこはまグッドバランス賞」認定

神奈川県横浜市は、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスを推進するため、誰もが働きやすい職場環境づくりを積極的に進める横浜市内の中小事業所を「よこはまグッドバランス賞」として認定しています。

レーベンホームビルド（2022年4月に日興タカラコーポレーションより社名変更）は2017年度より継続的に認定を受けており、2021年度には継続的に職場改善に取り組む企業に贈られる「3回継続賞」を授与されています。



○ 5S推進

タカラレーベンでは、以前よりオフィスの清掃や整理整頓に取り組む「クリーンタイム」（月2回）などを通して、気持ち良く働くことができる環境づくりを進めてきました。

2020年12月には安全衛生や5S※の観点から問題のある箇所をチェックする定期的な社内巡視に合わせ、本社内の従業員に5Sへの意識を高めてもらうために「5S推進ウィーク」を実施しました。この取り組みの結果、「コロナ対策の案内がわかりにくい」「不要な物が置かれていて通路が確保されていない」といった状況が改善されました。

※ 5S：「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」の頭文字のSをとったもの。



○ 多様な働き方を支える支援

2019年4月から順次施行されている「働き方改革関連法案」を踏まえて、「長時間労働の是正」や「多様で柔軟な働き方の実現」「雇用形態に関わらない公正な待遇の確保」に取り組んでいます。

長時間労働については、「時間外労働 月に原則45時間以内・年6回のみ60時間以内」を徹底するとともに、勤務実態を可視化して人事評価に反映することを検討するなど、長時間労働をしない職場づくりを推進しています。長時間労働をした従業員に対しては、「医師による面接指導」「労働時間の把握」を実施し、衛生委員会や産業医と情報を共有して、健康被害、労働災害の防止を図っています。

従業員一人ひとりに合った柔軟な働き方につながる有給休暇取得については、「年次有給休暇5日取得義務」の遵守を前提に、それぞれに付与された年次有給休暇の取得を強く推奨しています。

また、2020年4月より施行された「同一労働同一賃金」については、すべての従業員にとって働きがいのある職場を目指して、「契約社員の待遇改善」「契約社員の廃止検討」などを行っています。

従業員と共に

健康経営

○ 労働時間削減の取り組み

タカラレーベンでは、従業員の健康増進を目指して「時間を意識した効率的な働き方」を推進しています。2021年度は、PCの電源オンオフと連動した「PC利用延長申請システム」を導入しました。同システムによって、従業員が管理者にPC利用延長（時間外労働）の申請を行わずにPCを使い続けると警告画面が現れてシャットダウンされるため、残業時間の削減が見込まれます。一方、管理者においても部下の「残業内容が見える化」されることにより、メリハリのある組織運営への意識が高まると期待されます。

またタカラレーベングループ各社では、従業員がゆとりをもって健康的に働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。不動産の運営管理業務（プロパティマネジメント）を主な事業とする株式会社レーベントラストでは、ワークライフバランスに関する従業員の意識調査をもとに抽出した課題の解決に向けて、「各課での月2回ノー残業デーの実施」「時差出勤や有休取得の奨励」「テレワークの推進」「必要に応じた人員補充」「DX導入推進」などを進めています。

○ メンタルヘルス

タカラレーベンは、従業員に自身のストレスへの気づきを促してメンタルヘルス不調の早期発見・早期対応につなげることを目的に、ストレスチェックを実施（年1回）しています。ストレスチェックを受診した従業員には、結果に応じてメンタルヘルスの状況改善やセルフケアに活用できる学習コンテンツの提供を行っています。さらに従業員・従業員の家族を対象に、それぞれの意思に応じてプロフェッショナル（臨床心理士、精神保健福祉士、産業カウンセラー）からのアドバイスが受けられる相談センターを社外に設置し、メンタルヘルスケアをサポートしています。

ADVANTAGE 相談センター

 <p>どんなお悩みも</p> <p>ご自身のことも 周りの方のことも お気軽にご相談ください</p>	 <p>秘密は厳守します</p> <p>匿名でのご相談も 可能です。 安心してご相談ください</p>	 <p>自分にあった 相談方法</p> <p>対面のほか、電話、 WEB面談、メール などでも相談可能です</p>	 <p>医療・公的機関 も紹介可能</p> <p>提携の医療機関や より適した相談機関 のご紹介も承ります</p>
---	--	---	---

従業員と共に

各種研修制度

従業員一人ひとりの成長と組織としての総合力の向上を目指し、さまざまな研修を実施しています。

教育研修基本方針

- 当社ビジョンに基づく育成だけでなく、一社会人としてステークホルダーに対し誇れる人材の育成
- 各従業員が、自己成長感を覚え、キャリアデザインを構築できるプログラムの実施
- 人事評価制度と連動した、階層ごとに必要となる指導育成力、組織管理能力等、組織や仕事のマネジメント能力の向上
- 各業務の遂行に必要な専門知識、技術等、業務処理能力の習得

○ 新入社員研修

社会人・組織人・仕事人としての意識や、社内における自らの任務の自覚と責任意識を高め、プロとして成果を上げる能力を身に付けることなどを目的に、新入社員に対して入社後の3年間、定期的に研修を実施しています。「新入社員3カ年育成プログラム」に沿って、入社1年目、2年目、3年目ごとに求められる役割、目標、目的意識などを明確にし、自主性をもった従業員の育成に努めています。

○ 宅建取得支援

従業員に向けて宅地建物取引士資格（宅建）の取得を促進する取り組みを進め、学習計画書提出の義務化や、教材の販売、模擬テストなどを実施しています。

○ 教育研修の拡充

タカラレーベンは、従業員一人ひとりの成長と組織としての総合力の向上を目指し、教育研修制度の充実に努めています。2021年度は、全員が対象となる新入社員をはじめとする階層別研修、選抜された人材を対象とする研修など、個々が求められる知識、スキルを取得するためのプログラムを1年間にわたり計画的に実施しました。

■ 研修体系図

等級	定義	視点	全社教育	階層別	職場	選抜	その他
役員	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略の策定及び意思決定 会社運営 	会社		<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略 会社運営 		評価	
M3	<ul style="list-style-type: none"> 担当組織の戦略推進・管理 統括グループ目標の達成 円滑な組織運営 部長職の育成 	組織		<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略 事業組成 	360度評価	組織改善	
M2	<ul style="list-style-type: none"> 担当組織の戦略推進・管理 部目標の達成 円滑な組織運営 課長職の育成 		評価者トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> 組織マネジメント 			
M1	<ul style="list-style-type: none"> 担当組織の戦略推進・管理 課目標の達成 円滑な組織運営 部下育成 	チーム	ビジョン・ミッション・プロミス コンプライアンス・ハラスメント	<ul style="list-style-type: none"> マネジメント基礎スキル 		業務改善	
G3	<ul style="list-style-type: none"> 部下への指示・指導 業務遂行・改善・課題解決の中心的な役割 			<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップ 問題解決 			宅建士資格取得支援制度
G2	<ul style="list-style-type: none"> 上位者の概要指示で担当業務を遂行 業務遂行・改善・課題解決 			<ul style="list-style-type: none"> 論理的思考力 フォローワーシップ 	OJT 実務知識研修		
G1	<ul style="list-style-type: none"> 上位者の詳細な指示で担当業務を遂行 業務経験・知識の習得 	個人		<ul style="list-style-type: none"> ビジネススタンス ビジネスマナー 実務基礎スキル 傾聴力 問題発見 目標設定・管理 			eラーニング

○ ジョブローテーション

定期的に職場の異動や職務の変更を行うジョブローテーションの活性化を進めています。若手層に、本部や部門を越えた異動を経験させることで、会社全体の理解、ポテンシャルの追求、異なる環境への適応力強化を促進します。また中間層は、本人が希望する部署間異動を支援することで、個人のチャレンジを後押しするだけでなく、幅広い知識・スキルを持つゼネラリストを育成し、部門間の結びつきを深めることで組織力の強化にもつなげていきます。

従業員と共に

従業員とのコミュニケーション強化

より良い職場環境の実現を目指し、従業員の声と向き合う取り組みを推進しています。

○ 全従業員人事面談

労働環境や職場環境を改善し、従業員が「この会社でずっと働きたい」と思う環境を整えるため、全従業員を対象とする人事面談を実施しています。残業時間削減のための情報収集や従業員のキャリアプランの把握により改善施策を検討するとともに、相談しやすい関係性の構築を目指しています。

○ Takara Noteの拡充

タカラレーベンでは、グループ内WEBサイトTakara Note（タカラノート）を運用し、「グループシナジーの最大化」につながる情報共有、コミュニケーションの活性化を推進しています。Takara Note内の「グループの広場」では、「掲示板機能」「フォトアルバム機能」「Q&A機能」を活用し、各社の最新情報や業務効率化に役立つアイデアを得られるようになっています。2021年度は、50周年プロジェクトの進捗を発信するページの公開や、社外からもアクセス可能なサイトの開発を行いました。また、よりグループ経営に寄与するWEBサイトを目指して、経営陣の生の声を「Top Voice」として定期的に動画配信しています。



○ わくわくファミリーデー

タカラレーベンでは従業員を日々サポートしてくれている家族の皆さまに感謝の気持ちを伝えるとともに当社を知っていただく機会を提供することを目的に、さまざまなイベントを開催しています。2019年8月に本社で行われた「わくわくファミリーデー」では、24家族84名が参加し、縁日、写真立て工作ワークショップ、名刺交換体験などのプログラムを通して、夏休みの楽しいひとときを過ごしました。



○ 「四万十川水泳マラソン大会」 「マツヤマお城下りレーマラソン2019」

タカラレーベングループは、地域のスポーツイベントへの参加を通して、地域振興に協力するとともに、従業員同士が交流する機会を創出しています。タカラレーベン西日本では、従業員が日本最後の清流「四万十川」を泳ぎ下りながら、大自然と触れ合い、自然保護の大切さを考える「四万十川水泳マラソン大会」（2019年7月28日）に参加しました。また愛媛県松山市中心部の周回コースを、仲間とたすきをつないで走る「マツヤマお城下りレーマラソン2019」（2019年10月12、13日）では、役員・従業員によるチームでフルマラソンと同じ42.195kmを完走しました。



○ SPORTS FESTIVAL

当社グループでは、2018年よりSPORTS FESTIVAL（会場・さいたまスーパーアリーナ）を開催し、障害物競走やリレー競走、綱引きなどの競技を通じて、従業員の職場やグループの垣根を越えた交流と健康づくりを促進しています。

2019年10月24日の第2回 SPORTS FESTIVALでは、大縄跳びやドッジボールなど新種目が加わったほか、競技以外にも体力測定、子ども向け科学実験ショーといったさまざまな新企画が実施され、大勢の従業員とその家族が楽しい一日を過ごしました。

